

マルチディスプレイ用壁紙チェンジャ

嫁窓

yomemado

Ver 1.0

マニュアル

目次

1 概要.....	1
2 動作環境.....	2
2.1 前提 OS.....	2
2.2 前提ライブラリ.....	2
2.3 ハードウェア.....	2
3 インストール方法.....	3
4 アンインストール方法.....	3
5 操作方法.....	3
5.1 諸注意事項.....	3
5.2 起動・終了方法.....	3
5.3 基本的な動作方法.....	4
5.4 複数のディスプレイに跨って壁紙を表示する場合.....	6
5.5 1つのディスプレイを領域分割して別の壁紙を表示する場合.....	8
5.6 補足1ーサイズが異なるディスプレイの場合.....	12
5.7 補足2ーディスプレイが移動した場合.....	13
5.8 補足3ーディスプレイ番号が変更した場合.....	14
6 画面説明.....	15
6.1 設定画面.....	15
6.2 プレビュー画面.....	20
6.3 対象外ファイル個別指定画面.....	20
6.4 タスクバーアイコン.....	21
7 謝辞.....	22
8 免責事項および制限事項.....	22
9 連絡先.....	22
改変履歴.....	22

1 概要

嫁窓は、いつまで経ってもディスプレイの向こうから嫁が出てきてくれない方へお奨めする妄想現実化支援ツールです。

本ツールを用いることにより、複数のディスプレイに別の嫁を表示する事により、婚活の充実¹はもちろん、時間毎に切り替えてマンネリ感を解消²する事も可能！

縦画面へポートレート(縦長)の嫁写真³を表示するだけではなく、ワイド画面の左右別に表示させる事もできます。

閑話休題

嫁窓(ヨメマド)は Windows のマルチディスプレイ環境用に作られた、壁紙チェンジャです。

各ディスプレイ別に壁紙を表示することや、複数のディスプレイを跨った表示、1つのディスプレイを分割して別の壁紙を表示する事、これらを混在する事が可能です。

各壁紙は、複数のフォルダを指定でき、サイズや縦横比の条件、表示順序の指定を用いる事により、閲覧性の向上が可能です。

表示可能な画像ファイルは、Jpeg, Portable Network Graphics(PNG), Graphics Interchange Format(GIF) / Bitmap(BMP)です。※アニメーション GIF には未対応

1 効果効能には個人差があります

2 制作者の感想であり、内容を保証するものではありません

3 当ソフトには付属していません

2 動作環境

2.1 前提 OS

以下の環境で動作します。なお、UACは無効の状態で作成検証しています。

- Microsoft Windows Vista (32bit / 64bit)
- Microsoft Windows XP (32bit)

確認は行っていませんが、以下の環境で動作すると思われます。

しない場合はご一報願います。

- Microsoft Windows XP (64bit)
- Microsoft Windows Server 2003 / 2003 R2(32bit, 64bit)
- Microsoft Windows 7 (32bit, 64bit)
- Microsoft Windows Server 2008 / 2008 R2(64bit)

以下の環境では動作しません。

- Microsoft Windows 2000 以前の NT 系 / Me を含めた 95 系

2.2 前提ライブラリ

- Microsoft .NET Framework 3.5 以降

2.3 ハードウェア

- 壁紙更新時の負荷があるため、CPU はデュアルコア以上を推奨します。
- 画面のサイズに比例してメモリを利用します。例として、作者の環境(5760x3168)では初回起動時に 100M 程度占有され、以後 20M 程占有します。
- ディスク容量はほとんど必要としませんが、生成した壁紙ファイルを更新のつど保存するため、更新間隔が短い(10 秒未満)場合は、なるべく高速なメディアを利用してください。
- 32bit カラーかつ既定フォントサイズ(96DPI)でのみ動作確認を行っています。

動作例として、作者の環境を記載します。

- HP Pavilion e9190jp / Windows Vista Ultimate SP2(64bit) / Core i7 920(2.66GHz) / RAM 12G / SSD 80G×2(RAID0) + 1.5T HDD / GeForce 8600GTS + GeForce 8600GT / NEC 3090WQXi(2560x1600) + IBM T221(3840x2400) + MITSUBISHI RDT261WH(1920x1200) + CENTURY LCD-4300U(800x480)
- IBM Thinkpad X40 / Windows XP Professional SP3(32bit) + XGA モニタ
- Viliv S5 / Windows Vista Home Premium SP1(32bit) /

3 インストール方法

特にインストーラなどありません。

なお、実行後は実行ファイルと同じフォルダに、以下のファイルが作成されます。

- yomemado.xml 設定保存ファイル
- yomemado.bmp 壁紙ファイル
- yomemado.log エラーログファイル(内部エラー発生時のみ)

- ① アーカイブ中のファイルを適当なフォルダ(C:¥Program Files¥yomemado 等)に展開します
- ② 実行ファイル(yomemado.exe)のショートカットをスタートアップに登録します

4 アンインストール方法

特にアンインストーラなどありません。

- ① プログラムを終了します
- ② インストールしたフォルダ(C:¥Program Files¥yomemado 等)からファイルを全て削除します(インストール後に作成されるがファイルを含む)
- ③ スタートアップに登録した実行ファイルのショートカットを削除します
- ④ 壁紙設定を元に戻します

5 操作方法

5.1 諸注意事項

- ① 画面の広さに比例してCPU/メモリ/IO 負荷が増大します。
- ② 指定したフォルダ内のファイルが大量(500 以上)にある場合、条件に合致するファイルが少ないとファイルアクセスが多発するため、非常にシステムに負荷がかかります。
- ③ 上記対策のため簡易な画像サイズ取得を行っていますが、まれに失敗し、指定した条件に一致しない画像が表示される場合があります。

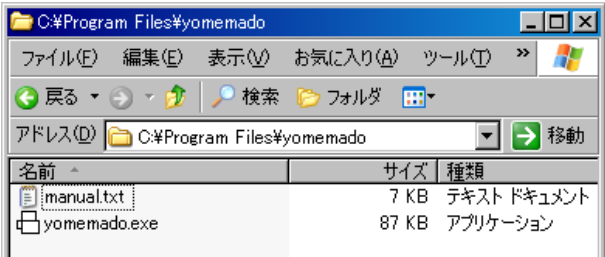
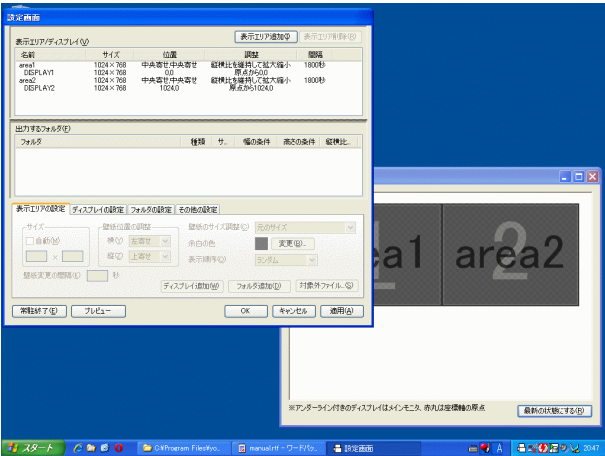
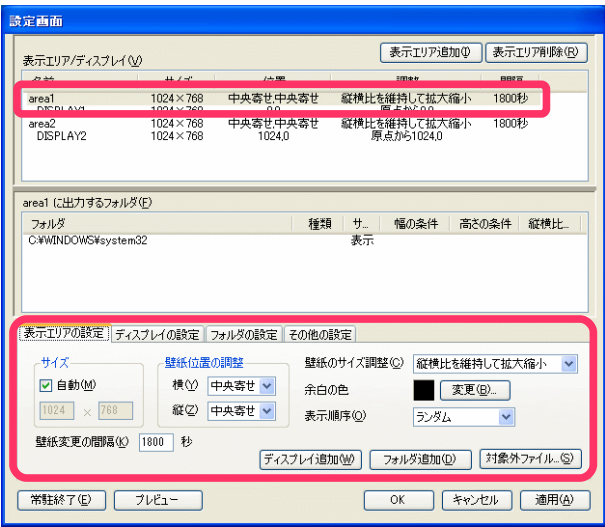
5.2 起動・終了方法

- ① ファイル(yomemado.exe)を実行する事によりプログラムが起動します。
- ② 初回起動時のみ、設定画面が表示されます。2 回目以降は設定画面は表示されず、タスクバーへ格納されます。
- ③ 終了する場合は、以下いずれかの方法によりプログラムを終了します。
 - ・ タスクバーアイコンを右クリックし、メニューから「常駐終了」を選択
 - ・ 設定画面左下の「常駐終了」ボタンをクリック
 - ・ タスクバーアイコンをダブルクリックし、確認ダイアログで「はい」を選択

5.3 基本的な動作方法

基本的な設定でプログラムを動作させる場合の手順を、以下に示します。

※画面は開発中のもので、変更されている場合があります

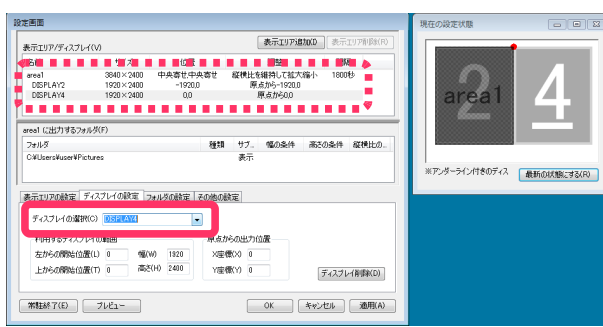
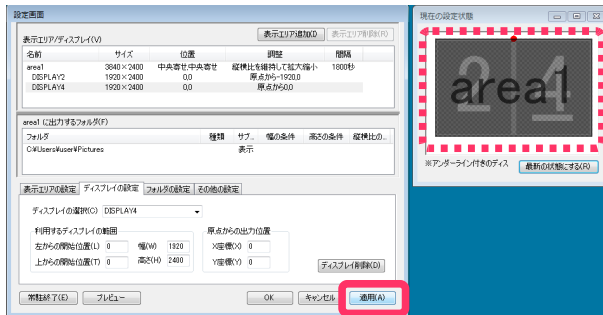
No.	画面	操作
1		<p>ダウンロードしたファイルを展開したフォルダを開きます。</p> <p>初回起動時後は、実行ファイルの他に以下のファイルが存在します。</p> <ul style="list-style-type: none"> •yomemado.xml •yomemado.bmp <p>設定を最初からやり直す場合は、上記2ファイルを削除します。</p> <p>yomemado.exe を実行します。</p>
2		<p>プログラムが起動し、現在のディスプレイ情報に合わせて、設定画面とプレビュー画面が表示されます。</p> <p>※初回起動時(yomemado .xml が存在しない場合)のみ</p>
3		<p>[表示エリア/ディスプレイ]一覧の[area1]を選択します。</p> <p>画面下の[表示エリアの設定]に、現在の設定内容が表示されます。</p> <p>[壁紙変更の間隔]や[壁紙のサイズ調整]等を、好みに合わせて変更します。</p>

<p>4</p>		<p>[area1 へ出力するフォルダ]一覧の 1 行目を選択します。</p> <p>画面下の[フォルダの設定]に、現在の設定内容が表示されます。</p> <p>[フォルダ変更]ボタンで、壁紙画像の存在するフォルダを変更します。 複数指定したい場合は、[フォルダ追加]ボタンでフォルダを追加します。</p> <p>小さすぎる画像を対象外としたい場合や、横長画像のみ表示したい場合は、[画像の幅]や[縦横比]等を、好みに合わせて変更します。</p>
<p>5</p>		<p>別のディスプレイに表示する壁紙設定を行うため、[表示エリア/ディスプレイ]一覧の [area2]を選択します。</p> <p>[area2 へ出力するフォルダ]一覧の 1 行目を選択します。</p> <p>画面下の[フォルダの設定]に、現在の設定内容が表示されます。</p> <p>同様に、フォルダの変更やサイズの制限を好みに合わせて変更します。</p>
<p>6</p>		<p>タスクバーにアイコンのみ表示され、プログラムが動作します。</p> <p>プログラム内部処理中や、壁紙更新を一時停止している場合はアイコンが ❸ になります。</p>
<p>7</p>		<p>プログラムを終了する場合は、タスクバーのアイコン上でマウスを右クリックして、メニューを表示し、[常駐終了]を選択します。</p>

5.4 複数のディスプレイに跨って壁紙を表示する場合

複数のディスプレイに跨って壁紙を表示する場合の設定方法を、以下に示します。
 例として、1920x2400サイズのディスプレイが左右に接続されている場合を想定します。
 ※画面は開発中のもので、変更されている場合があります

No.	画面	操作
1		<p>プログラム起動直後の状態は左図のようになっています。</p> <p>(注)DISPLAY4がプライマリ(主)モニターで、DISPLAY2は左側に存在するため、デスクトップ原点(プレビュー画面の赤丸)からマイナスの座標になっています。</p>
2		<p>[表示エリア/ディスプレイ]の[area2]を選択します。</p> <p>[表示エリア削除]ボタンをクリックします。</p>
3		<p>[area2]が削除されるので、確認のため[適用]ボタンをクリックします。</p> <p>プレビュー画面側の表示が更新され、area2が無くなった状態が確認できます。</p>
4		<p>area1にDISPLAY4を追加するため、[表示エリア/ディスプレイ]の[area1]を選択します。</p> <p>[表示エリアの設定]にある、[ディスプレイ追加]ボタンをクリックします。</p>

<p>5</p>		<p>[表示エリア/ディスプレイ]の[area1]にDISPLAY4が追加され、追加されたディスプレイの内容が画面下の[ディスプレイの設定]に表示されます。</p> <p>今回はディスプレイが2つしか無いためDISPLAY4が選択されていますが、他にもディスプレイが有る場合は、[ディスプレイの選択]の中から適切なディスプレイを選択します。</p>
<p>6</p>		<p>設定内容を確認するため、画面下の[適用]ボタンをクリックします。</p> <p>プレビュー画面側の表示が更新され、area1がDISPLAY4まで広がった状態が確認できます。</p> <p>設定は以上ですが、以降に補足説明をいくつか記載します。</p>

5.5 1つのディスプレイを領域分割して別の壁紙を表示する場合

1つのディスプレイを複数の領域に分割し、別の壁紙を表示する場合の、設定方法を以下に示します。


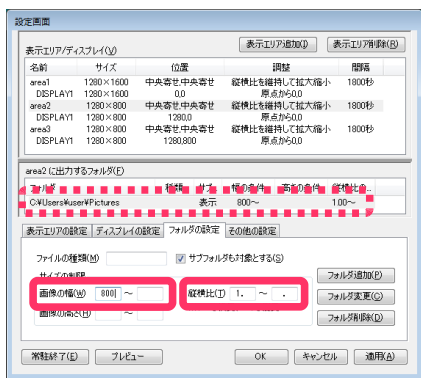
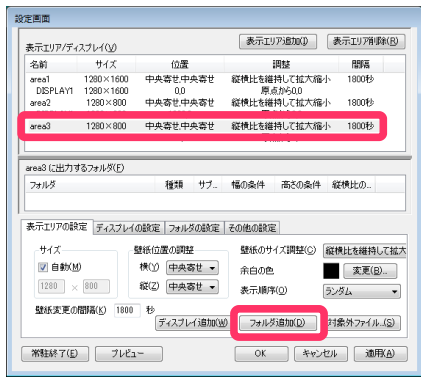
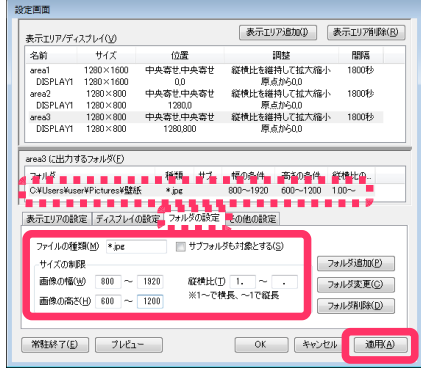
例として、2560x1600サイズのディスプレイを、1280x1600、1280x800、1280x800の3分割する場合を想定します。

※画面は開発中のもので、変更されている場合があります

No.	画面	操作
1		<p>プログラム起動直後の状態は左図のようになっています。</p>
2		<p>まず、[表示エリア/ディスプレイ]にある[area1]の[DISPLAY1]を選択します。</p> <p>縦長領域を作成するため、[ディスプレイの設定]の[利用するディスプレイのサイズ]を</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 幅 2560 → 1280 に変更 ▶ 高さ 1600のままと変更します。 <p>[適用]ボタンをクリックして、[プレビュー]画面で状態を確認します。</p>
3		<p>画面上部の[表示エリア追加]ボタンをクリックします。</p> <p>[area2]が追加されます。</p> <p>画面下[表示エリアの設定]内にある[ディスプレイ追加]ボタンをクリックします。</p>

次ページへ続きます

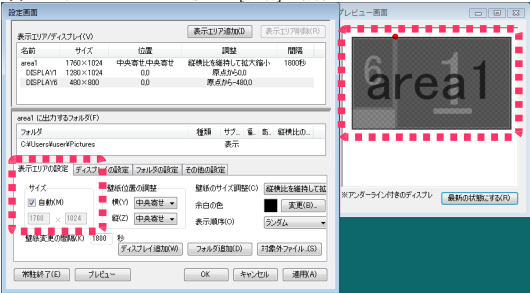
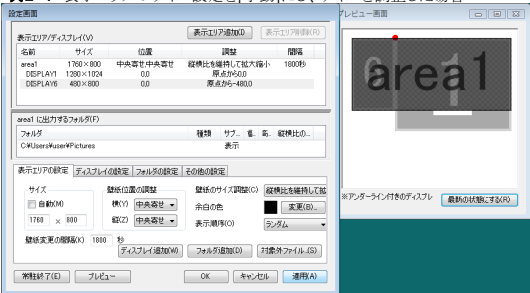

<p>4</p>		<p>area2にDISPLAY1が追加されたので設定を変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 左からの開始位置 0 → 1280 に変更 ▶ 上からの開始位置 0のまま ▶ 幅 2560 → 1280 に変更 ▶ 高さ 1600 → 800 に変更 <p>[適用]ボタンをクリックして、[プレビュー]画面で状態を確認します。</p>
<p>5</p>		<p>画面上部の[表示エリア追加]ボタンをクリックします。</p> <p>[area3]が追加されます。</p> <p>画面下[表示エリアの設定]内にある[ディスプレイ追加]ボタンをクリックします。</p>
<p>6</p>		<p>area3にDISPLAY1が追加されたので設定を変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 左からの開始位置 0 → 1280 に変更 ▶ 上からの開始位置 0 → 800 に変更 ▶ 幅 2560 → 1280 に変更 ▶ 高さ 1600 → 800 に変更 <p>[適用]ボタンをクリックして、[プレビュー]画面で状態を確認します。</p> <p>次にフォルダを設定します。</p>
<p>7</p>		<p>area1のフォルダを設定するため、[表示エリア/ディスプレイ]から[area1]を選択します。</p> <p>続いて、[area1に出力するフォルダ]の1行目を選択します。</p> <p>例として、[フォルダの設定]で以下の値を設定します。</p> <p>小さい画像は無視させるため、[画像の高さ]の最小値に[1024]を指定します。</p> <p>area1は縦長の表示エリアなので、[縦横比]の最大値に[1.](1.0)を指定します。</p>

<p>8</p>		<p>追加した area2 にはフォルダが設定されていないため、出力フォルダを追加します。</p> <p>[表示エリア/ディスプレイ]から[area2]を選択します。</p> <p>[表示エリアの設定]で[フォルダ追加]ボタンをクリックし、フォルダの選択ダイアログで任意のフォルダを指定します。</p>
<p>9</p>		<p>フォルダ追加直後は、[フォルダの設定]が表示されているため、そのままフォルダの設定を変更できます。</p> <p>例として、[フォルダの設定]で以下の値を設定します。</p> <p>小さい画像は無視させるため、[画像の幅]の最小値に[800]を指定します。</p> <p>area2 は横長の表示エリアなので、[縦横比]の最小値に[1.](1.0)を指定します。</p>
<p>10</p>		<p>area3 にもフォルダが設定されていないため、出力フォルダを追加します。</p> <p>[表示エリア/ディスプレイ]から[area3]を選択します。</p> <p>[表示エリアの設定]で[フォルダ追加]ボタンをクリックし、フォルダの選択ダイアログで任意のフォルダを指定します。</p>
<p>11</p>		<p>[フォルダの設定]の内容を適当に変更します。</p> <p>全ての設定変更が完了後、[OK]ボタンで設定画面を閉じます。</p>

12		最初の壁紙更新が実行され、壁紙が表示されます。
----	---	-------------------------

5.6 補足1ーサイズが異なるディスプレイの場合



サイズが異なるディスプレイを接続した場合、設定でどのサイズに合わせるか指定します。
 ※画面は開発中のもので、変更されている場合があります

No.	画面	操作
補足1	<p>補足1-例1：表示エリアのサイズ設定が[自動]の場合</p> 	<p>【補足1】サイズが異なるディスプレイの場合</p> <p>サイズが異なるディスプレイを接続した場合、設定により以下の状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●表示エリアの[サイズ設定]が[自動] 縦横の最大領域が利用されます(左図補足1-例1) この例の場合、壁紙の左下は、欠けた状態で表示されます。
	<p>補足1-例2：表示エリアのサイズ設定を手動にし、サイズを調整した場合</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●表示エリアの[サイズ設定]を[手動]で値を指定している場合 一番左上のディスプレイから指定した表示エリアのサイズが利用されます(左図補足1-例2) この例の場合、ディスプレイ1の空いた下には、何も表示されません 別の表示エリアを作成し、利用することは可能です(左図補足1-例3)
	<p>補足1-例3：余りに更に表示エリアを追加した場合</p> 	

5.7 補足2ーディスプレイが移動した場合

コントロールパネル等でディスプレイの設置位置を変更した場合でも、既存の設定のまま表示されます。


※画面は開発中のもので、変更されている場合があります

No.	画面	操作
補 足 2	<p>補足2ー例1：補足1の設定直後</p> 	<p>【補足2】ディスプレイが移動した場合 表示エリア内のディスプレイが実際のディスプレイと違う名前・設定値となっていますので、表示エリア内のディスプレイを削除し、再度ディスプレイを追加してください。 ※プログラム内部ではディスプレイ名(DISPLAY Y1 等)は意味を持たず、位置とサイズのみ利用されます</p>
	<p>補足2ー例2：上記から DISPLAY6 を左から右に移動した後</p> 	

5.8 補足3ーディスプレイ番号が変更した場合

ディスプレイを無効化後、PC 再起動を行う等が原因で、ディスプレイ名(DISPLAY1 等)が変わる場合があります。

※画面は開発中のもので、変更されている場合があります

No.	画面	操作
補足3	<p>補足3ー例：DISPLAY4がDISPLAY6に変更された場合</p> 	<p>【補足3】ディスプレイ番号が変更した場合 (位置やサイズがそのまま)ディスプレイ名だけが変わった場合には、[ディスプレイの設定]にある[ディスプレイの選択]が実態と一致しませんが、設定内容はそのまま利用できます。</p>

6 画面説明

6.1 設定画面



プログラムの動作を定義します。画面のサイズは変更可能。

設定画面表示中は、壁紙の更新は中断されています。

- ① 表示エリア/ディスプレイ一覧 「6.1.1 表示エリア/ディスプレイ一覧」を参照
- ② 分割線 表示エリア/ディスプレイ一覧とフォルダ一覧の表示比率を変更できます
- ③ フォルダ一覧 「6.1.2 フォルダ一覧」を参照
- ④ 各設定 「6.1.3 ~6.1.4」を参照
- ⑤ 常駐終了ボタン 現在の設定を保存し、プログラムを終了します
- ⑥ プレビューボタン プレビュー画面を手前に表示します
- ⑦ OK ボタン 現在の設定を保存し、画面を閉じます
初回起動時のみ、最初の壁紙を作成/表示します。
- ⑧ キャンセルボタン 現在の設定を保存せず、画面を閉じます
- ⑨ 適用ボタン 現在の設定を保存し、プレビュー画面を更新します

6.1.1 表示エリア/ディスプレイ一覧

名前 ③	サイズ ④	位置 ⑤	調整 ⑥	間隔 ⑦
area1	2560×1600	左寄せ,下寄せ	縦横比を維持して拡大縮小	18000秒
DISPLAY1	2560×1600	0.0	原点から0.0	
area2	1920×2400	中央寄せ,中央寄せ	元のサイズ	10秒
DISPLAY2	1920×2400	-3840.0	原点から-3840.0	
area3	1920×1200	右寄せ,上寄せ	余白が無くなるように拡大縮小	10秒
DISPLAY4	1920×1200	-1920.0	原点から-1920.0	
area4	1024×768	中央寄せ,中央寄せ	縦横比を維持して拡大縮小	18000秒
DISPLAY5	1024×768	0.1600	原点から0.1600	
area5	1920×1200	中央寄せ,中央寄せ	縦横比を維持して拡大縮小	10秒
DISPLAY4	1920×1200	0.1200	原点から-1920.1200	

※画面は開発中のもので、変更されている場合があります

表示エリアおよび表示エリア内のディスプレイを一覧表示します。選択された行は設定部分で変更可能です。

表示内容の詳細説明は「6.1.3 表示エリアの設定」および「6.1.4 ディスプレイの設定」を参照願います。

表示エリアは最大 20 件まで、表示エリア内のディスプレイと最大 20 件になります。

- ① 表示エリア追加ボタン 一覧の最後に、表示エリアを新規追加します
表示エリア名は「area + 連番」
- ② 表示エリア削除ボタン 選択している表示エリアを削除します
- ③ 名前欄 表示エリア名、またはディスプレイ名
ディスプレイ名は実際の値と異なる場合があります
(「6.1.4 ディスプレイの設定」参照)
- ④ サイズ欄 表示エリアの全体サイズ、またはディスプレイの割り当てサイズ
- ⑤ 位置欄 表示エリアの位置調整方法、またはディスプレイの割り当て位置開始座標
- ⑥ 調整欄 表示エリアの壁紙サイズ調整方法、または表示エリアに出力する原点からの相対位置
- ⑦ 間隔欄 壁紙更新の間隔

6.1.2 フォルダー一覧

フォルダ ①	種類 ②	サブ_ ③	幅の条件 ④	高さの条件 ⑤	縦横比の_ ⑥
C:\Users\User#\Pictures		表示			

※画面は開発中のもので、変更されている場合があります

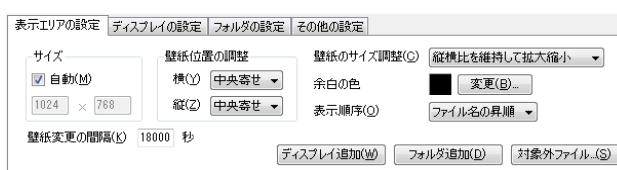
表示エリアで利用するフォルダを一覧表示します。選択された行は設定部分で変更可能です。

同じフォルダを複数指定できず、表示エリア毎に最大 9 件までとなります。

表示内容の詳細説明は「6.1.5 フォルダの設定」を参照願います。

- ① フォルダ欄 壁紙画像が格納されているフォルダ名
エクスプローラー同様に、ゆっくり2回クリックすると手動
で変更可能です
- ② 種類欄 指定がある場合は拡張子等
- ③ サブフォルダ欄 サブフォルダ内も表示対象にするかの条件
- ④ 幅の条件欄 画像の幅を範囲指定してある場合は、その条件
- ⑤ 高さの条件欄 画像の高さを範囲指定してある場合は、その条件
- ⑥ 縦横比の条件欄 縦横比を範囲指定してある場合は、その条件

6.1.3 表示エリアの設定



壁紙表示領域の基本単位である、画面エリアの設定を行います。

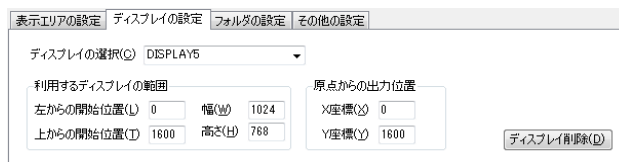
表示エリアは、最大 20 件まで作成可能です。

- サイズ: 自動 チェックすると、表示エリアのサイズを内包するディスプレイの位置およびサイズから計算し、自動で設定します
- サイズ ディスプレイ合成時の余白除去や、タスクバー領域除外等で、表示エリアサイズを手動で設定する場合に、指定します
- 壁紙位置の調整 壁紙サイズが表示エリアサイズと異なる場合に、画像を寄せる方向を指定します。
- 壁紙のサイズ調整 壁紙サイズが表示エリアサイズと異なる場合に、拡大する方法を指定します。
どの設定でも常に縦横比は維持されます。
- 余白の色 余白の色を指定します。
プレビューでエリアを塗る色になります。
- 表示順序 壁紙の表示順序を指定します。
フォルダ名を含めたファイル名を、英大小文字別文字コード順で順序付けます。
- 壁紙変更の間隔 壁紙更新のタイミングを秒で指定します。
0を指定すると更新されません。
間隔が短すぎる(10秒未満)場合には画面更新が追いつかず、システム負荷が増大し、プログラムの動作やシステムが不安定になる場合があります。
- ディスプレイ追加ボタン 現在の表示エリアに対象ディスプレイを追加します。
- フォルダ追加ボタン 現在の表示エリアに対象フォルダを追加します。
- 対処外ファイルボタン 対象外ファイル個別指定画面を開き、指定したフォルダ内で例外的に壁紙表示させないファイルを指定します。

【補足】

表示順序はプログラム起動やフォルダ設定変更、タスクバーメニューから「ファイルを再検索」を実施するごとにリセットされます。

6.1.4 ディスプレイの設定



※画面は開発中のもので、変更されている場合があります

表示エリアで利用するディスプレイを設定します。

なお、本プログラムでは物理的なディスプレイに合わせて壁紙を表示する訳ではなく、デスクトップ全体に於ける位置を基準に壁紙を表示します(「5.操作方法」の例を参照)

そのため、ディスプレイの設置位置変更や名前変更には追従せず、以前の設定値のまま動作しますので、ご注意願います(再設定の場合、ディスプレイを削除後再度追加します)

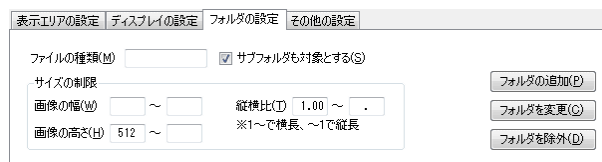
表示エリア内にディスプレイは最大 20 件に指定可能です。

- ディスプレの選択 位置/サイズの基準となるディスプレイを選択します
表示エリア内に同一のディスプレイは2つ選択できません
- 左からの開始位置 表示エリアに利用するディスプレイの位置を指定します。
- 上からの開始位置 同上
- 幅 表示エリアに利用するサイズを指定します。
- 高さ 同上
- 原点からの出力位置 ディスプレイの位置を、デスクトップ原点からの座標で指定します。
- ディスプレイ除外ボタン 現在のディスプレイ設定を削除します。

【補足】

最終的な壁紙表示位置は、原点からの出力位置 + 左/上からの開始位置になり、サイズは所属する表示エリアで指定されたサイズ以上はカットされます。

6.1.5 フォルダの設定



※画面は開発中のもので、変更されている場合があります

表示エリアで対象とするフォルダを設定します。

ネットワーク越しのフォルダ(¥¥サーバ名¥~)を指定した場合の動作は保証しません。

同じフォルダを複数指定できず、表示エリア毎に最大 9 件までとなります。

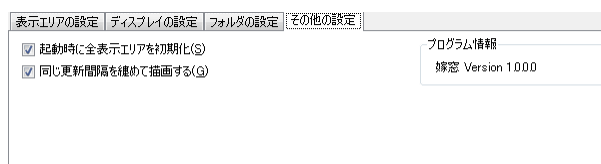
- ファイルの種類 *や?等のワイルドカードを用いて、ファイルを指定できます
(BMP/JPEG/PNG/GIF 以外の画像は表示できません)
入力がない場合は *.* と同じと見なされます。
複数指定や正規表現はできません。
- サブフォルダも対象 チェックすると、指定したフォルダ内のサブフォルダを再帰的に
全て対象とします。
- 画像の幅 壁紙対象とする画像の幅を最小値～最大値で指定します。
- 画像の高さ 壁紙対象とする画像の高さを最小値～最大値で指定します。
- 縦横比 壁紙対象とする画像の縦横比を小数で最小値～最大値で指
定します。
たとえば、縦長の 480x800 の場合 0.6、横長の 800x480 の場
合 1.66 になります。
通常は、縦画面の場合「～1.0」を、横画面の場合は「1.0～」を
指定します。
- フォルダの追加ボタン 新規にフォルダ設定を追加します。
- フォルダを変更ボタン フォルダを別なフォルダに変更します。
- フォルダを除外ボタン 現在のフォルダ設定を削除します。

【補足】

起動時や設定変更時に全ファイル一覧を取得するため、ファイル数が多い場合は一時的にシステム負荷が増大します。

プログラム起動後に追加したファイルを認識させる場合は、タスクバーメニューから「ファイルを再検索」を実行する必要があります(削除されたファイルは無視されます)

6.1.6 その他の設定



※画面は開発中のもので、変更されている場合があります

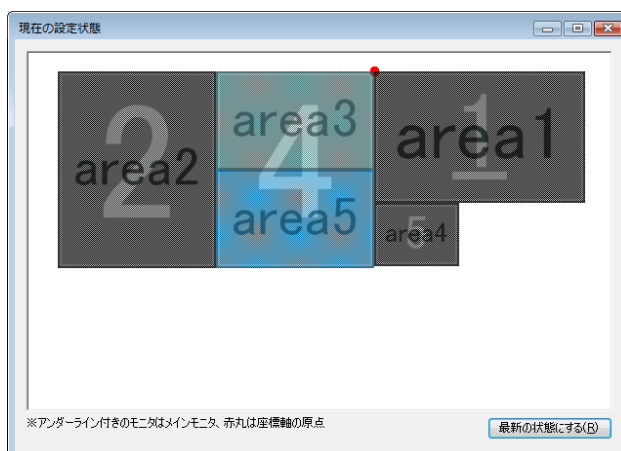
プログラム全般の設定およびバージョンを表示します。

- 起動時に全表示エリアを初期化 プログラム起動時に全表示エリア(表示間隔が0を除く)の壁紙を更新します。
- 同じ更新間隔を纏めて描画する 表示エリアの「壁紙変更の間隔」が同一値の場合、壁紙の再描画をまとめて1回で行います
- プログラム情報 バージョンを表示します。

【補足】

「同じ更新間隔を纏めて描画する」が有効な場合、次回壁紙更新までの時間が画面エリア別ではなくなるため、画面エリアの一時停止解除後しても他画面エリアと同じタイミングで壁紙更新されます。

6.2 プレビュー画面



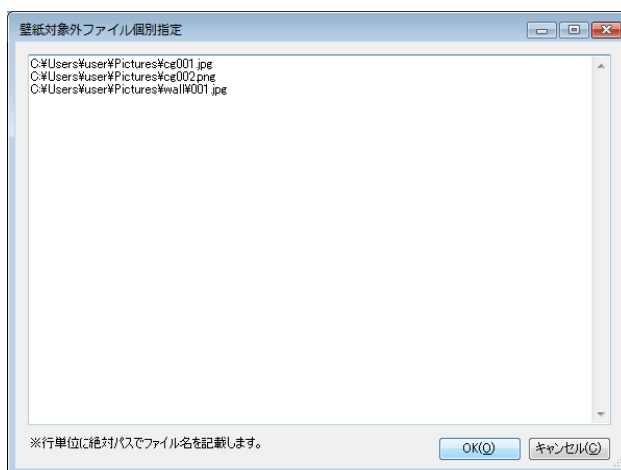
※画面は開発中のもので、変更されている場合があります

現在の設定情報を図示します。クリックやドラッグしても何も起きません。

閉じた場合や背面に移動した場合は、設定画面のプレビューボタンで再表示できます。

- 最新の状態にするボタン 現在の Windows 画面プロパティ、設定情報、プレビュー画面サイズに合わせて、画面を再描画します。
※設定画面の「適用」ボタンとほぼ同じです

6.3 対象外ファイル個別指定画面



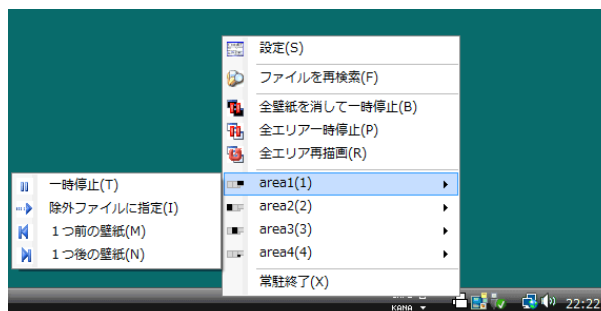
※画面は開発中のもので、変更されている場合があります

対象フォルダ内で例外的に壁紙表示させないファイルを指定します。


存在しないファイル等が指定されていた場合は無視されます。


- OK ボタン 設定を保存して画面を閉じます
- キャンセルボタン 設定を保存せず画面を閉じます

6.4 タスクバーアイコン



※画面は開発中のもので、変更されている場合があります

タスクバーにあるアイコン  上でマウスを右クリックすることにより、以下のメニューが表示されます。

アイコンが  の場合、表示エリア(の一部または全て)が一時停止状態となっています。

アイコンをダブルクリックすると終了確認メッセージが表示され、「はい」でプログラムが終了、「いいえ」で設定画面を表示します。

- 設定 設定画面を表示します。
- ファイルを再検索 全表示エリアの全フォルダを検索し直します。
表示順序も初期化されます。
- 全壁紙を消して一時停止 全壁紙を描画していない状態にし、壁紙変更を一時停止します。
再開する場合は、全 **areaX** のメニュー内で「一時停止の解除」を選択します。
壁紙を見られたくない状況に陥った場合に利用します。
- 全エリア一時停止 壁紙の自動更新を全て停止します。
- 全エリア一時停止の解除 全ての表示エリアが一時停止している場合は、再開します。
- 全エリア再描画 画面が崩れた場合などに、再描画します。
- **areaX** 各表示エリアの設定を変更します。
アイコンは大まかな位置を表します。
 - 一時停止 更新処理を一時停止します。
 - 一時停止の解除 一時停止されている場合は、壁紙変更を再開します。
 - 除外ファイルに指定 現在の壁紙を対象外ファイルとして登録し(対象外ファイル個別指定画面を参照)、次の壁紙を表示します。
 - 1つ前の壁紙 前に表示した壁紙を表示し直します。
 - 1つ後の壁紙 次の壁紙を表示します。
 - 終了 プログラムを終了します。

7 謝辞

開発にあたり、インターネット上の様々なサイトで公開されている Tips/サンプルを参照させて頂いています。

8 免責事項および制限事項

- プログラムの完全な動作は保証しません
- プログラムを利用して発生した直接/間接に生じた障害、損害について一切の責任を負いません。
- 本プログラムの動作が不安定な場合は、インストールフォルダにある yomemado.xml を削除し、設定を初期化してから再実行すると直る場合があります。
- 表示エリア(Max:20)やフォルダ指定数(表示エリア毎 Max:9)の上限は、適当に定めたため、不足する方はご連絡下さい。
- Windows の終了(シャットダウン/再起動)時に、本プログラムが停止せず、Windows が終了しない場合があります。手動で本プログラムを常駐解除し、再度 Windows を終了してください。
- 本マニュアルで、頭の悪い段落表示が見つかる場合があります。作成ソフト(OOo Writer)による回避不能な現象のため、ご容赦願います。

9 連絡先

バグ報告・要望・感想・質問およびソースコードの開示要求などありましたら、掲示板 (<http://aq2.jp/bbs/light.cgi>)もしくは n_taketi@hotmail.com までお願いします。

改変履歴

- ◆ 2009/10/12 Ver1.0 マニュアル初回作成